

# 港北区防災・区民生活マップ

令和6年12月発行



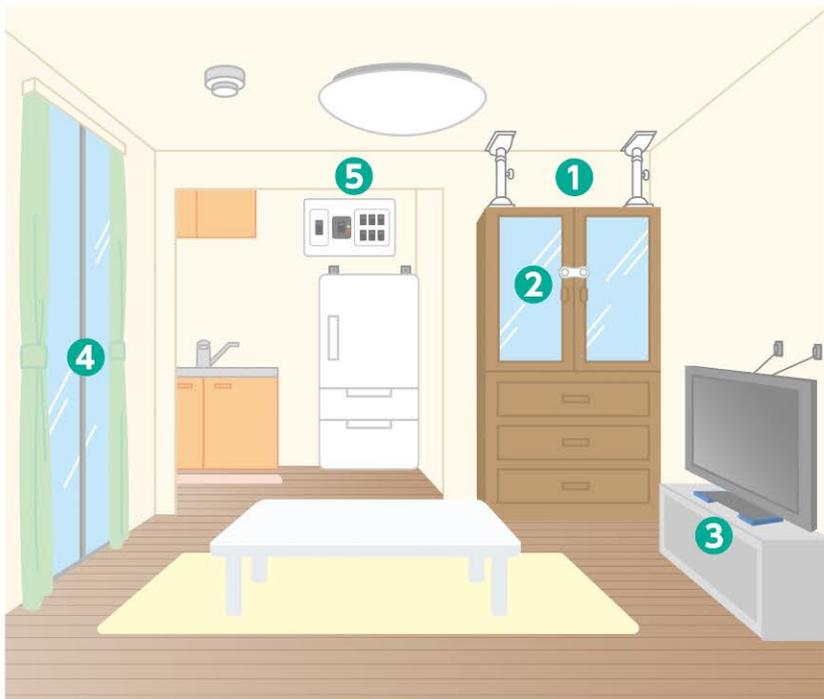
©港北区ミズキー

**大地震**は  
いつ起こるかわかりません。  
日頃の備えを改めて確認してみましょう。



## 自宅の安全対策

過去の大震災で亡くなった方の大部分が家具などの倒壊による圧死でした。地震から身を守るために、また、地震発生後に自宅で過ごせるように、家具の固定や配置を工夫し、家の中を安全にしておくことが重要です。被害を軽減するためにも日頃から点検し、安全対策をしましょう。



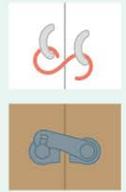
### ① 家具

金具やつっぱり棒など家具転倒防止器具を取り付ける。



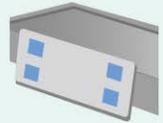
### ② 扉・戸棚

扉が開いて食器等が飛び出さないよう、留め金具を取り付ける。



### ③ テレビ等の固定

耐震マットで固定する。



### ④ 窓ガラス

ガラスに飛散防止フィルムを貼る。



### ⑤ ブレーカー

暖房器具の転倒などによる出火や停電からの復旧時における通電火災(破損した電気コードのショートによる出火など)を防ぐため、感震ブレーカー(大きな揺れを感知すると自動的に電気を遮断する)を設置する。

分電盤タイプ



地震発生時に自動的に電気を遮断



コンセントタイプ



## ● 火災が発生してしまったら

初期消火は出火後2〜3分が大事です。これ以上火災が続くと、火が天井にまわり手がつけられなくなります。ただし、大きな揺れの最中に無理に火を消そうとすると危険です。まずは身の安全を図りましょう。

炎が天井まで届くくらいになった ➡ 初期消火をやめ、すばやく避難

家の外に避難したら ➡ 周囲に大声で火災の発生を知らせ、119番通報を

火災の規模が大きい場合 ➡ 広域避難場所等へ避難

## 備蓄品や非常持出品

地震発生直後は、食料や日用品を手に入れることが難しくなります。家族構成を考えて、必要な備蓄をしておきましょう。また、すぐ取り出せるところに非常持ち出し品を準備しておきましょう。

備蓄する量は**1週間分**、**最低3日分**です。

必要量をリュック等に入れて、非常時にはすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

項目	品名	チェック欄	項目	品名	チェック欄	項目	品名	チェック欄
水	水缶・ペットボトル		食料品	携帯ラジオ (予備電池含む)		貴重品	現金(小銭も)	
	簡易食料(ゼリー飲料等)			懐中電灯 (予備電池含む)			預金通帳、有価証券類、印鑑	
	インスタント・レトルト食品			モバイルバッテリー (携帯充電器)			健康保険証の写し	
	缶詰 (缶切りを使わなくても開くもの)			使い捨てカイロ			本人確認書類	
	フリーズドライ食品			マッチ、ライター		医薬品等	傷薬、目薬、消毒薬	
食器用具	皿・コップ (紙・プラスチック)		ポリタンク		風邪薬、胃薬			
	割りばし スプーン・フォーク		スリッパ		常備薬、おくすり手帳			
	缶切り、ナイフ		軍手		トイレパック(携帯トイレ)			
	鍋、カセットコンロ		ロープ、ガムテープ		トイレットペーパー			
	衣類等	上着、下着類		ビニールシート、敷物			洗面用具、タオル	
帽子、ヘルメット			ゴミ袋		石鹸、シャンプー			
毛布			ビニール袋		ティッシュ ウェットティッシュ マスク			
雨具、傘			ラップ、アルミホイル		生理用品			
			筆記用具、メモ帳		ガーゼ・包帯 ばんそうこう・三角巾			
			ホイッスル		アルコール消毒液			
					体温計			

乳幼児がいるなどご家庭の状況に合った備蓄品や非常持出品を用意しましょう。

# 避難の流れ

## 地震発生 その場にあった身の安全の確保

### 自宅にいるとき

- クッションや布団、枕など近くにあるもので頭を守る。
- 丈夫な机の下に身を隠す。
- ガラスの破片などでケガをしないように注意する。
- あわてて外に飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保する。

### 外にいるとき

- 自動販売機やブロック塀、電柱など倒れやすいものから離れる。
- カバンなどで頭を守り、看板や外壁など落下物の危険性のある建物から離れる。
- 垂れ下がっている電線やガス漏れしている場所には絶対に近づかない。
- 道路が液状化や地割れを起こしている場所には近づかない。

### エレベーターに乗っているとき

- 全ての階のボタンを押して、停止した階で降りる。
- 閉じ込められたとき、非常ボタンやインターホンで連絡を取り救助を待つ。
- 余震の可能性もあるため、避難にエレベーターは使用しない。

### 車を運転中のとき

- 急ブレーキをかけず、ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として道路わきに停車する。
- 揺れがおさまるまで、車内のラジオなどで情報収集する。
- 車を離れるときは、緊急で移動させることもあるため、キーを付けたままにする。

### すばやく火の始末

- 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をしましょう。
- 火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火。

## 周辺の状況を確認 自宅や隣家の倒壊・火災等の危険がないか

危険がない

危険がある

### いっつき避難場所に避難



#### 公園や広場

次の避難場所に移動する前に一時的に集まり、被害状況を確認する任意の場所。  
※いっつき避難場所を経由せずに地域防災拠点等へ避難する場合があります。

自宅で生活ができない

いっつき避難場所に火災の危険がある

### 広域避難場所



#### 大きな公園や大学など

大規模火災の熱や煙から生命・身体を守るために一時的に避難する場所。

詳しい場所は地図面へ

自宅で生活ができない

### 避難時の注意

- 移動はほぎわ、狭い道を避ける
- 避難は徒歩で。自動車は厳禁



### 地域防災拠点(避難所)



#### 地域防災拠点の主な役割

- 1 避難生活を送る場所
- 2 在宅避難者が、水・食料、生活用品を確保できる場所
- 3 救助・救出活動の拠点となる場所
- 4 安否確認や被害状況の情報を収集・発信する場所

#### 〈地域防災拠点の運営〉

地域の皆さんを中心に、学校・行政・避難者が協力して行います。

家屋の倒壊などにより自宅で生活できない人が一定期間避難生活を送る場所です。港北区では、市立の小・中学校29か所を指定し、横浜市内で震度5強以上の地震を観測したときに、全ての地域防災拠点を開設します。

地域防災拠点では、最低限の食料・水の備蓄、救助活動用資機材の整備などがされており、これらを活用し、徐々に体制を整えていきます。

詳しい場所は地図面へ

### 福祉避難所

地域防災拠点での避難生活が困難な方の避難所



#### 福祉施設など

区の保健師などが、心身の状態や受入施設の状態等を勘案し、福祉避難所への避難を判断します。**直接避難ができる場所ではありません。**

詳しい場所は地図面へ

## 乳幼児を連れた避難の基本



子どもを守るポーズ

### ●歩ける子どもでも基本は抱っこで避難

避難するときは、歩ける子どもであっても、抱っこをして子どものけがを防ぎ、はぐれないようにします。靴も履かせておくようにし、ヘルメットや帽子で頭を守るようにしましょう。

### ●ベビーカーで避難しない

停電でエレベーターが動かない、建物やブロック塀の倒壊で道がふさがれベビーカーが通行できないなどのことが考えられます。

抱っこ紐での避難を想定しておきましょう。

### ●はぐれた時も想定して準備しておく

子どもと離れないようにするのが原則です。

万が一離れてしまった時のことも考え、探すための家族写真を持っておくようにする、子どもに持たせる避難バッグに連絡先等を書いたものをポケットに入れておく(※防犯上外から見えないようにしておく)などの備えをしておきましょう。

# 在宅避難

## 在宅避難のススメ

大地震が起きたら、地域防災拠点に避難するものだと思っていませんか？ 地域防災拠点の収容人数や備蓄数量には限りがあり、プライバシーの確保や集団生活によるストレスを感じる等の課題もあります。自宅が安全に生活を送れる状態であれば、**在宅避難**をしましょう！

### 在宅避難に向けた日頃の対策

自宅で生活するために、家の対策や必要な食料品・生活必需品の備蓄をするなど、日頃から対策を進めておきましょう。

家の対策 ▶ **自宅の安全対策** **共同住宅での備え** をチェック ライフラインがおおむね復旧するまでの日数

備蓄 ▶ **備蓄品や非常持出品** をチェック

早い 電気 1週間 水道 3週間 ガス 5週間 遅い

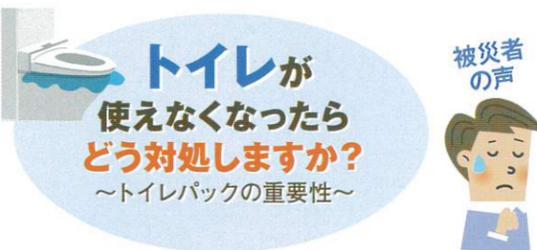
## 在宅避難中に物資などが必要になったら

詳しい場所は地図面へ

地域防災拠点では水や食料などの物資や開設中の医療機関などの情報を提供しています。また、断水したときには、災害用地下給水タンク、緊急給水栓及び耐震給水栓がある場所で飲料水を得ることができます。

### トイレ対策

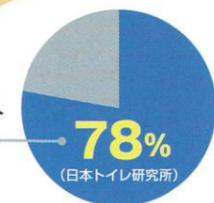
地震が起きると断水や下水管の損傷等で、トイレが使えなくなることがあります。水が流れても下水管が損傷していれば、逆流することもあります。そのため、地震発生直後は、トイレパック（携帯トイレ）を使いましょう！



東日本大震災のとき水洗トイレが使用できなくて、トイレはかなり不衛生でした。

トイレに行くのが嫌で、水分や食事の摂取を控えてしまいました。日頃から、トイレパックを備蓄しておけばよかったです。

東日本大震災時 9時間以内にトイレに行きたくなった人



### トイレパック備蓄の目安

家族の人数×最低3日分×一日当たりのトイレ回数想定

例えば4人家族で一人一日5回 トイレに行くとする... 4人×3日×5回=60セット

## 共同住宅での備え

### マンションでの揺れについて

高層階では、大きくゆっくりした揺れにより、家具類が転倒・落下・移動する可能性が高くなるため、特に家具の固定などの対策が必要です。



### 備蓄について

各家庭での備蓄のほか、共同住宅全体でも救急用品や救助用資機材などを備蓄しましょう。  
エレベーター内の備蓄も検討しましょう。



### 管理組合や住人同士での協力

● 防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡に目を通しましょう。  
● フロアの世帯数や年齢層などを把握し、管理組合と協力し、災害時の行動のマニュアルなどを作成しましょう。



### 避難路について

● 災害時には、エレベーターの使用や玄関からの出入りができなくなる可能性があるため、非常階段や非常扉の場所、ベランダの避難ハッチ（非常脱出口）や蹴破り戸の使い方を確認しましょう。  
● 避難器具の周りに物を置かないようにしましょう。



## 帰宅困難者になってしまったら？

大地震が起こると、公共交通機関がしばらく運休し、帰宅が困難になります。駅前や繁華街は人が滞留し、大混乱になる可能性も考えられます。むやみに移動を開始せずに正確な情報収集を心掛け、職場や施設などとどまるようにしましょう。

移動中など屋外で被災し帰宅困難となった方を支援するため、トイレパックや水などの備蓄品や、公共交通機関の運行情報を提供する帰宅困難者一時滞在施設を指定しています。利用の際は「一時滞在施設NAVI」にて、施設の開設状況を確認してください。

### 慌てないための備えが必要です ~職場での備え~

一時滞在施設ナビ 検索



- 無理に帰宅しなくて済むように、職場に泊まれる準備をしておきましょう。
- 帰宅せざるを得ない場合に備えて、職場に帰宅グッズを用意しておきましょう。

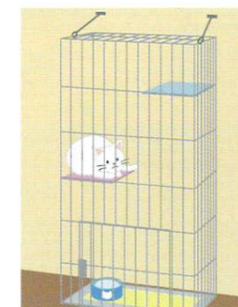
### 帰宅グッズの例

- 携帯ラジオ  地図  簡易食料(お菓子など)  飲料水
- モバイルバッテリー(携帯充電器)  懐中電灯  雨具
- 動きやすい服装  スニーカー  タオル

## 備えましょう! ペットの災害対策



災害時に大切なペットと一緒に安全に避難するため、今できる備えをしましょう。飼い主やペットの情報を記載できるペット防災手帳を区役所環境衛生係(3階39番)で配布しています。



### ペットがいる場所の安全確認

屋内ならばケージ・水槽等の転倒防止、屋外ならばブロック塀・柵の倒壊防止の対策をしましょう。

### 在宅避難の準備

自宅に被害がなく、二次災害の恐れもない場合、**在宅避難**をお勧めします。住み慣れた自宅の方が、人もペットもストレスの少ない避難生活を送れます。

### ペットのための備蓄品準備

食料・生活用品の備蓄に加え、薬や療法食が必要な場合は命に関わるので、必ず備蓄しましょう。

- 7日分(最低5日分)以上の食料、水、常備薬  食器  予備の首輪やリード
- キャリーバッグやケージ  トイレ用品(ペットシートやトイレ砂)
- タオル、新聞紙  油性ペン、カッター、ガムテープ等



### 預け先の確保

同行避難が困難な場合を想定し、事前にペットを預かってもらえる親族や友人、ペットホテル等を探しておきましょう。

## 防災訓練に参加しよう

いざという時に、すぐに正しい行動がとれるように、地域防災拠点や自治会町内会等で行われている防災訓練に積極的に参加しましょう。



### 防災訓練に参加するメリット

- 災害時の対応方法を習得できる。
- 地域の人との協力関係を築ける。
- 災害時の課題が見えてくる。

### 地域防災拠点での訓練例

- 避難者の受付・避難者リストの集計訓練
- 備蓄資機材の組立・操作訓練
- 飲料水の確保訓練
- 生活場所の区割り訓練
- トイレ対策訓練
- 炊き出し訓練
- 夜間訓練
- など

### 自治会町内会での訓練例

- 要援護者の安否確認
- 地域防災拠点への避難方法の確認
- 短期間の避難を想定した訓練
- 初期消火訓練
- など

# 防災情報 ~デマや誤情報に惑わされず、正確な情報を収集しましょう。~

## ●横浜市防災情報ポータル [横浜市 防災ポータル 検索](#)

横浜市の気象・地震情報、避難情報などを掲載しています。  
また、ライフラインや鉄道運行状況を確認できます。



## ●よこはま防災e-パーク [横浜 防災パーク 検索](#)

時間や場所にとらわれることなく、  
ウェブサイト上で動画等のコンテンツにより  
防災を学ぶことができます。



## ●港北区ウェブサイト [港北区 防災・災害 検索](#)

港北区の防災に関する情報を掲載しています。



## ●横浜市避難ナビ

ハザードマップの確認や避難所へのルート検索など、  
平時から災害時までを一体的にサポートするアプリです。



App Store  
◀iOSの方は  
こちら



Google Play  
◀Androidの方は  
こちら

## ●横浜市防災情報Eメール [横浜市 防災情報Eメール 検索](#)

地震震度情報、気象警報・注意報等を始めとする  
防災情報をEメールで配信するサービスです。  
防災情報をリアルタイムで入手することができます。



◀メールはこちら  
(メールアプリが起動します。  
空メールを送信してください)

## ●わいわい防災マップ [わいわい防災マップ 地震 検索](#)

災害の危険性を表す各種ハザードマップ等を  
ウェブサイト上で閲覧できます。



## ●X(旧ツイッター)

災害時の情報が、インターネット上のコミュニケーションサービスであるXを通じて配信されます。  
[【総務局危機管理室】@yokohama\\_saigai](#) [【港北区】@yokohama\\_kohoku](#)

## ●防災スピーカー

区役所や地域防災拠点の小・中学校などにJアラートの緊急情報などを放送するため、設置しています。  
港北区では、現在13か所に設置されています。 [詳しい場所は地図面へ](#)

## 災害用伝言ダイヤル 171

【伝言の登録の仕方】

171 → 1 → 電話番号入力 → 自分の電話番号 → 30秒以内に避難場所などを簡潔にお話してください。(ガイダンスが流れます)

【伝言の再生の仕方】

171 → 2 → 電話番号入力 → 自分の電話番号 → 伝言の聴取～続けて伝言の追加もできます。(ガイダンスが流れます)

※携帯電話の場合は、各社によって利用方法が異なりますので、サービスの確認をしてください。

※毎月1日、15日は体験利用が可能です。詳細は災害用伝言ダイヤルのウェブサイトをご確認ください。

[災害用伝言ダイヤル 検索](#)



横浜市では、市民の皆様による自助・共助の取組の参考にさせていただくために、「防災よこはま」を作成しています。

詳しくは、 [防災よこはま 検索](#)



# 港北区のあゆみ

- 昭和14年 港北区誕生(現在の港北区、緑区、青葉区、都筑区をあわせた区域で、人口は約5万人)
- 昭和39年 東海道新幹線の開通に伴い新横浜駅が開業
- 昭和44年 緑区(現在の緑区、青葉区及び都筑区の一部)を分区分
- 昭和53年 区新総合庁舎が現在地に開設
- 昭和60年 横浜―新横浜間で市営地下鉄の開通
- 平成元年 横浜アリーナがオープン
- 平成5年 新横浜―あざみ野間で市営地下鉄の開通
- 平成6年 一部を都筑区に編入、現在の港北区となる
- 平成10年 横浜国際総合競技場(日産スタジアム)がオープン
- 平成15年 鶴見川多目的遊水地(新横浜公園)運用開始
- 平成20年 市営地下鉄グリーンラインの開業
- 令和5年 相鉄・東急直通線の開通、新綱島駅開業
- 令和6年 港北区民文化センター(ミズキーホール)がオープン

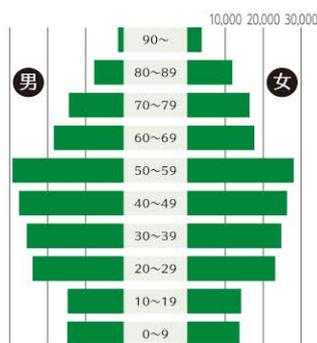


# 港北区の統計

人口 **365,796** 人  
(市内1位)  
(令和6年11月1日現在)



世帯数 **183,731** 世帯  
(市内1位)  
(令和6年11月1日現在)



平均年齢 **44.4** 歳  
(令和6年9月30日現在)



(令和6年11月1日現在)  
「統計情報ポータル」より

# 港北区のシンボルマーク



港 北 区

昭和63年に区制50周年を記念して制定されました。港北の「北」という文字を使い、未来に向けて2羽の鳥が協調・発展する姿を表現しています。



区の花 ウメ

区の花はウメ、区の木はハナミズキです。平成3年に選定され、平成5年にマークが制定されました。



区の木 ハナミズキ

# 港北区のキャラクター

港北区ミズキー



港北区ミズキー

検索

「港北区ミズキー」は、区の木ハナミズキの妖精です。平成21年に区制70周年を記念して誕生しました。区ウェブサイトなどでデザインなどを公開しています。



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

公式マスコットキャラクター  
トウクツトウク

GREEN×EXPO 2027は、私たちの生活に大きな影響をもたらす気候変動に着目した「環共」をテーマとする、環境と共生し市民と共に創る日本で初めての国際博覧会です。自然・人・社会が共に持続するために、地球の限界や脱炭素社会を見据え、「人々の環境への意識や行動は2027年の横浜から変わった」と言われるよう準備を進めていきます。



(公社)2027年国際園芸博覧会協会より提供

- 開催期間** 2027年3月19日(金)~9月26日(日)
- 開催地** 神奈川県横浜市・旧上瀬谷通信施設
- テーマ** 幸せを創る明日の風景  
~Scenery of the Future for Happiness~
- 開催者** 公益社団法人  
2027年国際園芸博覧会協会



詳細はこちら▲